

筑後市社会福祉協議会 / 広報

# 人として

筑後市社会福祉協議会

(〒833-0032 筑後市野町680-1)

TEL 52-3969

FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに … それが社会福祉協議会の目標です。



きょうだいも“自分らしく生きる”  
困ったときにすぐ相談できる社会に…

10月23日(木)、校区福祉会の役員研修で「太田宏介アトリエ工館」(太宰府市)へ視察に行きました。

太田宏介さんは、自閉スペクトラム症・知的障害のある画家で、動物や植物など色彩豊かな絵を描かれます。兄の信介さんは、絵を多くの人に届けたいと起業し、販売や絵画展の企画などもしています。そしてそのかたわら、若いきょうだいと同じように悩まないようにと、きょうだい会の活動も行われています。

今回は、兄・信介さんのお話を紹介します。

きょうだいの悩みと漠然とした不安

子どもの頃から、「親亡き後は、どうなるのか」「結婚はできるのか」といった漠然とした不安がありました。友達にも自閉スペクトラム症の説明が難しく、会話の空気が重くなる

気がして、弟の存在を隠すようにも。そんな自分に罪悪感を感じていました。

うまくいかないことを弟のせい…

子どもの頃、傷ついた経験などがコンプレックスになり、前向きに行動ができないことが続いていました。年を重ねるにつれてプライドも高くなり、恋愛も積極的になれないことも。自分が振られる怖さや、仕事、人間関係がうまくいかないことを、弟のせいに行っている自分…。自己嫌悪もありました。

しかし、弟の絵がきっかけで、その考えが変わっていききました。

絵に癒され、元気をもらっていた

弟は、子どものころから色や絵に関心があり、造形教室や絵を描く作業所に通っていました。そして、個展を開いたり絵画展で展示されるようにも。ある美術館では、有名画家と並んで展示され、お客さんが「かわいい」と集まっていたのを見て弟への見方が変わりました。

自分自身も仕事で落ち込んだりし

ていたときに、弟の絵に癒されていたこともあり、多くの人に届けたいと、脱サラし起業をしました。周りの心配もありましたが、今はよかったと思っています。

### 自分の経験を通して…

きょうだいは、誰に相談したらいいか分からず悩みを隠し、孤立してしまうこともあります。

「大学は実家から通えるところにした方がいいのか」「恋人に家族のことを言うべきなのか」「将来はどうしたらいいのか」など多くの悩みを抱えます。

自分の経験が役に立てばときようだいの活動を続けています。

### 困ったときに相談できる安心感

父の死や母の病気で、より親亡き後を考えるようになりました。ただすべてを自分ができるべきだとは思っていません。うまく福祉サービスを利用しながらそれぞれが自分らしく生きることが大切だと思います。困ることは、突然起こります。そ

## 障害のある人の兄弟姉妹の会です ふくおか・筑後きょうだい会

～同じ立場で語り、交流しましょう～

と き 12月14日（日）14：00～16：00

と ころ 筑後市総合福祉センター  
（野町680-1）

問 合 せ ●ふくおか・筑後きょうだい会

✉ chikugo\_kyoudai@yahoo.co.jp

●筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677

## 太田宏介 アトリエ館



場 所 福岡県太宰府市

五条3丁目1-1

営業時間 11：00～16：00

休 館 日 毎週水曜日

入 場 料 無料

問 合 せ ☎ 092-410-3850

んなときに相談できる人がいると安心できます。「何かあったら言うってね」の声掛けが一番うれしいです。また、そんなときにすぐに相談できる社会のしくみがあれば良いなと思います。

## 介護講座4回目 介護ストレス編 「アンガーマネジメント」について



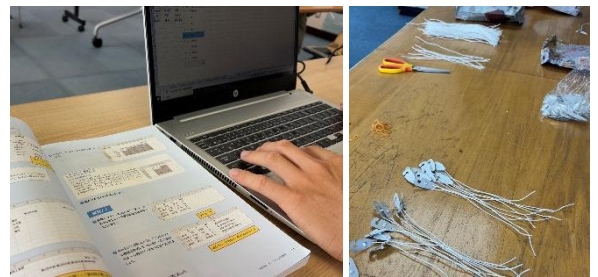
介護をしている家族のための介護講座第4回目では、アンガーマネジメントについて学びました（10月19日（日）実施、介護家族の会コスモス主催）。

参加者からは、「認知症の母。夜不安定になり、家族が大変」「80代後半になってからの介護はしんどい」といった声も。

講師の川島豊輝さん（デイサービス絆・施設長）は、「支援者よりも理解者が必要」

「悲しい気持ちや罪悪感を持つ人は、人の気持ちに共感できる人」と説明。「家族会などに参加することで、心の負担を軽減しましょう」というアドバイスもされました。

## 家から出るきっかけに… ふらっとスペースに来てみませんか？



毎週水・金曜日に開所しているふらっとスペースは、不登校やひきこもりがちな方の居場所・内職スペースです。

内職や卓球、ゲーム、読書、パソコン（エクセル）の学習など、さまざまなことにチャレンジを広げています。

ちょっと家を出て過ごしてみたいとき、ふらっとお越しください。お待ちしております。

開 所 日 毎週水・金曜日 14：00～16：00

場 所 筑後市総合福祉センター 研修室

問 合 せ 筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677



子育てで一番大変だったのは、時間が足りないことです。仕事と家事、子育てに毎日必死でした。

助けてもらいながら必死に子育て

今回、お話を聞いたのは、筑後市母子寡婦福祉会（以下、母子会）の会長・小川和子さん。  
母子会は、ひとり親家庭のお母さん、お父さんの会です。安心して子育てが出来るよう親子同士で交流したり、研修会で暮らしに役立つことを学んだりしています。

## ひとり親家庭の会 筑後市母子寡婦福祉会 つながり支え合うことで心が軽くなる

子どもが病気のときは、両親に預けたり、帰りが遅くなるときは、知り合いに子どもたちの弁当を買って届けてもらったりもしていました。とても一人では、難しかったです。  
また、子どもの進路など、自分ひとりで決断しないといけないとき、とても不安でした。学校の先生に相談に行ったり、いろんな人に助けられました。

母子会でできたつながり

日々、仕事に子育て、家事に忙しく地域の人の関わりもありありませんでした。また、ひとり親を支援する制度があっても情報を集めることもできずにいました。  
そんな時、当時の役員に誘われ、母子会に入会しました。母子会で同じひとり親の繋がりができました。息子が大学に行くときも、「この制度を利用して良かったよ」など教えてもらいました。

## 母子寡婦福祉会 クリスマス会

毎年、大好評のクリスマス会を今年も開催します！



締切  
12/8  
(月)

日時 12月21日（日）10：00～12：00

場所 筑後市総合福祉センター集会室

内容 ゲーム プレゼントお渡し他

対象 市内ひとり親家庭

参加費 大人800円、子ども500円

※当日母子会へ入会で参加可能。  
（入会金 1,000円）

※当日キャンセルは参加費をいただきます。

申込み 下記またはこちらから

筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677



ひとりで悩まず  
楽しく子育てを！

「自分の子育てが良くないのかな」とひとりで悩みを抱え込んでいませんか。同じように悩みながら子育てをしているお母さんや、子育てを経験した先輩がいます。  
「自分だけじゃない」と思える仲間がいます。  
頑張り過ぎず、ひとりで悩まないで、母子会に入って一緒に楽しく子育てしませんか。

## 筑後市母子寡婦福祉会 随時会員募集中！

同じ立場だから  
相談しやすい

イベントが  
楽しみ！

校区外に  
お友達が  
できました

対象 筑後市在住のひとり親家庭

会費 年会費1,000円（4月～3月）

主な活動 バスハイク、クリスマス会  
親子交流会、学習会など



## 社会福祉事業資金寄付

## ★ 香典返し寄付の部 ★

福富恵美子様(故 恵様) 船小屋  
 高山 廣典様(故 道子様) 溝口町  
 北島 孝徳様(故 タマノ様) 野町  
 角博光様(故 ツルヨ様) 前津  
 田島 洋子様(故 正憲様) 前津  
 匿名様1件

## ★ 一般寄付の部 ★

○羽犬塚小学校昭和44年度卒業生様から現金の寄付がありました。

★ 計二五、一八三円

## 善意奉仕銀行寄付

## ● 預託の部(物品口座)

○福富恵美子様(船小屋、馬場宮香様(長浜)、匿名様2件から紙おむつの寄付がありました。  
 ○匿名様からじゃがいもの寄付がありました。  
 ○ヒラモリ株式会社様(山ノ井東から羽毛布団の寄付がありました。  
 ○匿名様からチャイルドシートの寄付がありました。  
 ○渡辺喜美様(水田上、福岡八女農業協同組合様(八女市、三角政義様

冬休みも福祉センター  
ご利用ください！

読書スペース



自習スペース

開 館 月～金曜日(12月27日～1月4日を除く)  
8:30～17:00

場 所 筑後市総合福祉センター



(八女市)からからお米の寄付がありました。  
 ○篠原弘様(一条、立山康弘様(和泉中)、後藤正喜様(前津)から野菜の寄付がありました。  
 ○匿名様からみかんの寄付がありました。  
 ○JAふくおか八女よらん野様(前津)から野菜の寄付がありました。  
 ○(株)フレシア様(下北島)からお菓子の寄付がありました。  
**【いずれも10月1日～10月31日まで】**

## ひきこもり家族相談会

日 時 12月18日(木)  
13:00～16:00  
 予 約 12月11日(木)17:00まで  
1日限定3組、匿名可  
 場 所 筑後市総合福祉センター  
(原則来所での相談)

不登校・ひきこもりの家族会  
サルビアの会 定例会

日 時 12月6日(土)14:00～15:30  
 内 容 気になる「睡眠」の話  
 講 師 森永牧子さん  
(九州大谷短期大学 教授)  
 場 所 筑後市総合福祉センター



申込み・問合せ 筑後市社会福祉協議会(筑後市野町680-1筑後市総合福祉センター内)

☎0942-52-3969 ☎0942-53-6677 ✉info@chikugo-shakyo.or.jp

## 事務局通信

今年は戦後80年。メディアを通して多くのことを目にしました。特に印象深かったのは、「亡くなった人たちのために、生きている自分のできることは…」と、身近な人を亡くし、さまざまな想いを持ちながら必死に戦後を生きてきた方達です。  
 学生時代に学んだ戦争の悲惨さ。当時からその恐ろしさを、受け止め切れずにいました。しかし今回改めてその恐ろしさと向き合うと、戦後を生きている方たちのさまざまな苦しみを感ずることができました。  
 同じ時間を生きていることを、ただただ喜び、それぞれが自分らしく安心して暮らせるように…。互いに支え合い、繋がりあって暮らせるように…。戦後100年、200年と言い続けられるように…。未来を生きている人たちが、平和に明るく暮らしていけるように…。  
 それらを叶えるために大切なのは、戦後必死に生きてきた方達の想いを受け継ぐことです。社会に役立つことで生きていい、ということではなく、生きていることそのものを大事にできる社会を育むことが必要だと思いました。

(実)

心配ごと相談 毎週木曜日、午後1時から午後4時まで、福祉センター相談室で行なっています。秘密厳守で対応します。